

## 授業概要

各種発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする生徒の特性や支援の在り方について講義する。また、その支援体制を構築するための特別支援教育制度とその背景となる考え方としてインクルーシブな視点について講義する。授業においては、これらの内容を主体的に学べるよう、特別な支援が必要な人の事例をもとに具体的な支援について学ぶ。

## 授業計画

第 1 回	オリエンテーション、特別支援教育
第 2 回	特別支援教育の歴史・現状、合理的配慮・基礎的環境整備
第 3 回	授業におけるユニバーサルデザイン
第 4 回	知的障害の理解と支援
第 5 回	情緒障害、言語障害の理解と支援
第 6 回	視覚障害、聴覚障害の理解と支援
第 7 回	肢体不自由、病弱・身体虚弱、重度・重複障害の理解と支援
第 8 回	特別の教育的ニーズの理解と支援
第 9 回	発達障害とは、LD の理解と支援
第 10 回	ADHD の理解と支援
第 11 回	ASD の理解と支援
第 12 回	校内委員会と特別支援教育コーディネーター、個別の計画
第 13 回	自立活動、通級による指導、特別支援学級
第 14 回	特別支援学校、センター的機能
第 15 回	就学先の決定、交流及び共同学習
第 16 回	最終課題

## 到達目標

- ・障害等により特別の支援を必要とする生徒の特性を説明できる。
- ・障害等により特別の支援を必要とする生徒の特性を踏まえた支援を考えることができる。
- ・特別支援教育制度などの支援体制やそれを支える考え方について説明できる。

## 履修上の注意

授業中や予習、復習、課題等でウェブを介した提出物が多くある。初回の授業および必要に応じてその都度、提出手順を説明するが、そのやり方を把握するためにも、基本的に出席していることが不可欠である。特段の事情により、授業に関して配慮が必要な場合は、必ず相談すること。

## 予習・復習

毎回、授業の最後に、復習課題と次の授業の予習課題の内容および提出締め切りを案内する。これらは成績評価に含まれるため、必ず取り組むこと。

## 評価方法

授業中の取り組み 30%、予習 20%、復習 20%、最終課題 30%として評価する。

## テキスト

必要に応じて資料を配布する。